

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		首都圏アンテナショップの売上及び来店者数の増加							
指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
	実績b	0	0	データ等の出典					
	東北 全国	0 0	0 0						
把握する時期								当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月	
指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
	実績b	0	0	データ等の出典					
	東北 全国	0 0	0 0						
把握する時期								当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月	
指標を設定することができない場合の効果の把握方法									
指標を設定することが出来ない理由									
新型コロナウイルス感染症の影響が不透明であり、首都圏等での感染状況に左右されるため、指標の設定が困難である。									
見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)									
割引券事業の実施により県産食品の売上増加とアンテナショップへの来店数の増加が見込まれる。毎月、各アンテナショップから割引券の配布及び使用実績について報告書の提出を求める。									

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している県産食品等の販売強化策として、首都圏における販売拠点であるアンテナショップでの割引券事業の実施が必要である。
住民ニーズに照らした事業の必要性	アンテナショップ運営事業者から、県産食品の販売強化策として割引券事業の継続実施の要望があり、ニーズに添った事業である。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの 県等が運営するアンテナショップを活用して事業を実施することにより、秋田の食・農・観の一体的な売り込みを図ることができる。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 其他